

なぜ中小企業の管理職は経営目線で「考えない」のか？「動かない」のか？「育てない」のか？

～ 中小企業経営者のための「管理職教育」手法 公開セミナー ～

〈株式会社新経営サービスによるプレゼンセミナー〉

開催要項

- 日 時 2026年5月11日(月)14:00～16:15 (開場 13:30)
 - 場 所 大阪中小企業投資育成株式会社 セミナールーム
(大阪市北区中之島3-3-23 中之島ダイビル28階/京阪「渡辺橋駅」直結)
 - 参加費 無料
 - 申込締切 5月3日(日)
 - 申込方法 大阪投資育成のHP、または右の二次元コードからお申込ください。
※同業の方からのお申込はお断りさせていただきますので、ご了承ください。
- ◎リアル限定申込URL (<https://sbic-wj.seminarone.com/bf2075-r/event/>)
定員:20名程度
直接会場にお越しください。



※参加申込いただきました個人情報、参加者名簿として講師機関と共有し、セミナーの企画・運営・実施のために利用する他、関連するアフターサービス、必要な情報提供及び投資育成制度に関する各種ご案内のために使用いたします。
また、申込された方には出席・欠席を問わず講師機関及び弊社より後日ご連絡させていただく場合がございます。

セミナー内容

「慢性的な人材不足」、「困難な価格転嫁」、「DX化の遅れ」…。厳しい局面が続く中小企業経営において、「外部環境の厳しさ」を原因に挙げる声が耳に入ります。しかし、同じ条件下でも着実に次の成長段階へと進む企業もあります。その差は何か？それは「人」であり、中でも組織の中核を担う「管理職」が進化しているかどうか、の差と考えられます。多くの中小企業の管理職には「考え方」、「動き方」、「部下の育て方」に問題があり、苦心する姿が常態化しています。ここを改善しなければ、現状の成果は元より、将来的な組織成長も期待できません。本セミナーでは、人事担当者としての経験を基に、中小企業経営を組織・人材開発の観点からサポートしてきたコンサルタントが、事例を交えながら対策の方向性をご紹介します。

セミナーの主な内容

- I. 中小企業の成長を鈍化させている原因
 - ・中小企業を取り巻く外部環境
 - ・成長企業と鈍化企業の違い
- II. 管理職の「考えない」「動かない」「育てない」はなぜ起こるのか
 - ・トランジションにつまづくケース～「現状維持バイアス」
 - ・蔓延する指示待ち～「経営(上位)者依存症」
 - ・タテ割り色が強い文化の影響～「自部門至上主義」
 - ・本来的な期待役割の認識不足～「我流マネジメント」
 - ・思考停止状態で臨むタスク～「前例踏襲」
 - ・部下を育てる意識の希薄さ～「育成放棄」
- III. 管理職の進化を生み出す仕掛け
 - ・正しい役割認識が成果創出の第一歩
 - ・「未来のための問題」をデザインする力
 - ・情報量にモノをいわせる
 - ・今、見えている景色が本当に正しいか？
 - ・関係性が変わると動きも変わる
 - ・相互理解がもたらす組織の効果
 - ・逆算思考でつくる未来
 - ・部下との心理的距離を埋める方法
 - ・「思考過多」からの脱却
- IV. 組織改革の具体的な事例紹介 etc.

講師紹介

岡野 隆宏 株式会社新経営サービス マネジャー [投資育成セミナー「課長クラス研修」常任講師]

広告会社、研修会社にて人事・教育に関する実務を担当。その経験を基に、主に中堅・中小企業の組織・人材開発を展開中。クライアント企業に対する研修のみならず、外部団体での講演も精力的に行っている。受講者からは「現場経験に基づいた話の説得力があり、勇気づけられる」と定評がある。執筆書籍「管理職の手帳 BASIC100」。